

防災・日本再生シンポジウム

「東北地方の化学と教育：3.11 から 189 日の歩み」

共催：公益社団法人日本化学会東北支部、東北大学大学院理学研究科、国立大学協会

平成23年 9月16日(金) 14:30～17:00

東北大学片平キャンパス さくらホール2階

入場無料

懇親会：17:00～ホール1階にて(会費1,000円)

復興マラソン：有機化学研究室の一事例

磯部寛之（東北大院理・教授）

東日本大震災における石巻専修大学の対応

指方研二（石巻専修大・准教授）

東日本大震災からの復興を目指して

—原発避難区域の高等学校現場の現状—

高橋信幸（福島県立浪江高津島校・教務主任）

1978年と1983年の震災経験と2011年の地震

—防災への心構えと行動規範—

中村 彰（秋田大院医・教授）

免震構造によって守られた東北薬科大学

—33年前の震災からの教訓—

吉村祐一（東北薬科大・准教授）

東日本大震災後の大学のあり方

小間 篤（秋田県立大・学長）

詳細：<http://tohoku.chemistry.or.jp/jigyou.html>

問い合わせ：日本化学会東北支部事務局

nikka.tohoku@chemistry.or.jp

(022) - 224 - 3883